

定例公安委員会の開催状況について

令和5年10月26日に、第29回定例山形県公安委員会が開催されました。議事の概要は次のとおりでした。

1 令和5年度第2四半期における監察実施状況等について

令和5年度第2四半期における監察実施状況等について報告があった。

委員のコメント

- 内部監査は組織を統率する上で大変重要な業務だと思う。今後も警察職員としての自覚と規律遵守の意識の醸成に配意した指導を継続してほしい。
- 定期的に監察を実施し、引き続き基本を遵守するよう体制を維持してほしい。特に、留置管理業務については、関係法令等をしっかり教養してほしい。

2 「警察書道」コンクールの入賞作品の決定と作品展示等について

「警察書道」コンクールの入賞作品の決定と作品の展示等について報告があった。

委員のコメント

- コンクールには、昨年を大幅に超える作品が出品され、裾野の広がりを感じる。特殊詐欺被害防止や交通安全等につながる活動の一環として、本コンクールを定着させてほしい。
- 課題となる言葉について、次年度も目指すべき言葉、指針となるような言葉を選定してほしい。

3 家具製造工場における放火事件の検挙について

家具製造工場における放火事件の検挙について報告があった。

委員のコメント

- 公判を念頭に、捜査を尽くして立証措置を取ったことを評価する。

4 「高齢者の交通事故防止推進強化旬間」の実施について

令和5年11月1日から同月10日までの間実施される「高齢者の交通事故防止推進強化旬間」について報告があった。

委員のコメント

- 薄暮時間帯に夜光反射材を着用することは、有効な交通事故防止対策であるので、更なる配布・貼付活動を推進してほしい。運転免許証の自主返納については、山形県の地域性を考えた場合、移動手段を含めた高齢者対策を講じる必要がある。
- ハイビームの有効な活用方法について周知してほしい。
- 運転免許の返納について、返納希望者宅を訪問して手続きを行うことは有効な手段だと思う。また、歩行者が道路を横断することを意識していない運転者が未だ多く見られるので、歩行者保護意識が定着していくよう引き続き「交通安全ありがとう運動」を推進してほしい。本運動の本質は、歩行者が車を止めるという明確な意思表示を示すことにあるので、高齢者の交通安全教室においても、その考え方を強調してほしい。

夜光反射材については、女性でも使用しやすいデザインを考案してほしい。